

# 防水性







## 防水性能

ロンジンの時計は国際ISO2281規格の認可を受けています。実際に時計の着用の際にさまざまなシミュレーションを実験室で行えるわけではないので、ロンジンではお客様に以下の表のような安全基準を設けています。

時計の防水性能を測る場合、求められる保護のレベルに応じてさまざまな手法が適用されます。密閉パッキンの使用は一定の度合いの遮水性を実現できますが、水や埃を完璧に防ぐ能力の測定には、その時計がどのように製造されたかが問題になります。実際に時計の着用の際にさまざまなシミュレーションを実験室で行えるわけではないので、ロンジンではお客様に右の表のような安全基準を設けています。

一般に防水性能を永久保証することはできません。パッキンの自然な摩耗やケースの作業パーツを変形させるような偶発的な衝撃を受ける可能性があるからです。安全上の理由から、ロンジンの特約店で1年に1度は定期的な防水性能チェックをおすすめします。

1. 時計裏のマーク
2. 防水性\*
3. 雨、手洗い
4. シャワー、洗顔、家事、お風呂
5. スイミング、シュノーケリング

1	2	3	4	5
なし**	非防水	NO	NO	NO
3気圧	 30M防水	YES	YES	YES
5気圧	 50M防水	YES	YES	YES
10気圧	 100M防水	YES	YES	YES
30気圧	 300M防水	YES	YES	YES

\* 表示の防水性は、ISO22810,6.2.6.水準を適用しています。

\*\* 懐中時計のみ。

# スクリューバックケース裏蓋



防水性能はいかなるスポーツウォッチにおいても必要不可欠な機能です。この機能は時計製造における精巧さと最新の技術を映すものであることに加え、卓越したブランドイメージを連想させます。防水時計には高品質のケースが必要です。スクリューバックケースの裏蓋は、防水性能が長期間維持されることを意味し、30気圧に相当する重圧に耐えうる性能を保証しています。

# ねじ込み式リューズ



スクリューバックケース裏蓋と同様に、それがどのように製造されたかが、防水性能を保証するうえでとても重要です。機械式時計の場合、設定や巻き上げ操作を容易にするために、ケースにはすきまが必要です。しかしこのすきまが水や埃の侵入を許す入口となるのです。

この弱点を排除するためには、巻芯はチューブに入れられ、そしてケースに挿入されています。リューズはそのチューブにねじ込まれ、防水性能をさらに強化するためにパッキンが挟み込まれています。